

政策分野	002	教育	政策項目	005	芸術・文化	施策	001	芸術・文化活動の推進	担当課	社会教育課社会教育グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
056	町民が芸術文化に親しむ環境づくりと芸術創造のまちづくりを推進します。							継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 芸術文化鑑賞事業等実施回数（単位：回）	12	13	14	23	11	3		23%	I 芸術文化鑑賞事業（①～④）、工房体験事業（⑥）の実施回数
	II 文化振興基金申請件数（単位：件）	1	3	5	6	7	6		200%	II 文化振興基金の申請件数
成果指標	I 芸術文化鑑賞事業等参加・来場者数（単位：名）	1,263	1,700	1,800	2,056	1,594	1,188		70%	I 芸術文化鑑賞事業（①～④）、工房体験事業（⑥）の参加・来場者数
	II 文化振興基金交付件数（単位：件）	1	3	5	6	7	6		200%	II 文化振興基金の交付件数

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	①8/28（3小学校合同演劇鑑賞事業）→420人 ②4/11～20（伊藤正・貞子絵画展）→488人 ③9/14（カルチャープラザ運営実行委員会事業 お笑いまつり）→280人
施策の分析 （目標達成・未達成に関する要因分析）	絵画展を4月の老舗まつりに合わせて開催したことで前年度の4倍近い来場者があった。 また、同じく老舗まつりに合わせた芸術家の個展開催を促したことで文化振興基金補助金の活用に繋げることができた。
課題・問題点	芸術文化鑑賞事業は計画とおりに実施できている。

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 （担当課長）	①計画通りに進める 芸術文化鑑賞事業については、引続き、町民ニーズも踏まえながら、多くの町民に芸術文化に親しむ機会を創出していくこと。 文化振興基金については、芸術家活動や町民の自主的な活動への支援を、各種イベントや企画の情報を把握しながら推進すること。
2次評価 （副町長）	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価 （町長）	※評価対象外

今後の展開・方向性 （国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等）	町民ニーズを踏まえながら、引き続き芸術文化を親しむ機会を創出する。
--	-----------------------------------

政策分野	002	教育	政策項目	005	芸術・文化	施策	001	芸術・文化活動の推進	担当課	社会教育課社会教育グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
057	町民や文化団体による芸術・文化活動を支援します。							継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 芸術文化事業開催回数（単位：回）	4	4	4	4	4	0	0%	I 町民及び団体・サークルが主体的に参加する芸術文化事業の開催回数	
	II 栗山町文化連盟加盟団体数（単位：団体）	31	30	30	29	27	27	90%	II 栗山町文化連盟に加盟する団体の数	
成果指標	I 芸術文化事業参加来場者数（単位：名）	1,831	2,000	2,200	804	870	0	0%	I 町民及び団体・サークルが自主的に参加する芸術文化事業の参加来場者数	
	II 栗山町文化連盟加盟会員数（単位：名）	306	300	300	276	229	213	71%	II 栗山町文化連盟に加盟する会員の人数	

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	下期に4事業（芸術祭・音楽祭・芸能祭・菊花展）開催予定。
施策の分析 （目標達成・未達成 に関する要因分析）	連盟の会員数の減少と高齢化に歯止めが効かない状態である。新規サークルの加盟は厳しいものがある。芸術祭開催には一般町民等の参加が必須である。
課題・問題点	高齢化により活動していく体力面での不安がある。運転免許証の返納により自力で集うことができないため会の存続を検討しているところもある。

今後の展開・方向性 （国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、 重点的・優先的に取り組む施策等）	町民を巻き込んだ文化イベントの開催を目指す。
--	------------------------

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 （担当課長）	①計画通りに進める 高齢化に伴う加盟サークル・文化連盟の会員減少により、芸術・文化活動が衰退傾向にあるが、下期に予定している事業に加え、町民講座等により、新たな会員の獲得に向けた取組を、関係団体と連携・協議しながら進め、芸術・文化活動の維持・確保に努めること。
2次評価 （副町長）	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価 （町長）	※評価対象外

政策分野	002	教育	政策項目	005	芸術・文化	施策	002	文化財保護・活用の推進	担当課	社会教育課社会教育グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
058	ふるさと栗山の文化財保護・活用や郷土芸能の継承活動を推進します。							充実	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8)目標値	後期(R12)目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 文化財保護委員会開催回数（単位：回）	3	4	4	3	3	2	50%	I 文化財保護委員会の開催回数	
	II 開拓記念館事業実施件数（単位：件）	6	6	6	4	4	2	33%	II 開拓記念館事業（特別展、生活体験事業、指定管理者自主事業）の実施件数	
成果指標	I 文化財指定件数（国・町指定）（単位：件）	23	24	25	25	27	27	113%	I 国または町が指定する文化財の数	
	II 開拓記念館来館者数（単位：名）	1,000	1,700	1,750	2,041	2,390	3,503	206%	II 開拓記念館の来館者数（令和3年度については1月現在の見込数）	

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護委員会開催（4/24・8/1） 開拓記念館特別展 <ul style="list-style-type: none"> ① 泉麟太郎の仕事を講えた掛軸展4/15～5/31 ② 栗の樹ファーム・栗山英樹展6/26～11/30
施策の分析 （目標達成・未達成に関する要因分析）	文化財保護委員会は年間事業計画通りに実施できている。 開拓記念館事業の実施については第2回の特別展が非常に好評で過去最高の入館者数となったことから会期を延長して開催することとなった。
課題・問題点	文化財保護委員会は特定保護委員の知見に頼るところが大きく、来年度退任された場合、適任者を見つけることが難しい。 教育委員会と研究員間の相談・報告業務がスムーズにいかない。研究員間の意思疎通が図られていない。 S63開館以来そのままとなっている常設展示の内容を検討する必要がある。

今後の展開・方向性 （国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等）	文化財保護委員については町内だけでは手が確保できず、広域的な視点で人材確保を行い事業活動の維持を行っていく。 開拓記念館は施設の魅力を活かせるよう、R10年には開設40周年となることから常設展示の再考を図る。
--	---

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 （担当課長）	①計画通りに進める 貴重な文化財の保護・活用を進めるため、文化財の調査段階で地域の意向を確認しながら、指定に向けた取組を進めこと。また、専門的知見が必要となる文化財保護委員の後継者の発掘・育成にも精力的に取り組むこと。 開拓記念館事業については、将来的な常設展示に内容を検討しながら、町の歴史を学ぶ機会の充実を図ること。
2次評価 （副町長）	①計画通りに進める 一次評価結果に加え、文化財が冬季間に雪で埋没してしまわないように管理や展示方法に留意すること。
外部評価	※評価対象外
最終評価 （町長）	①計画通りに進める 二次評価のとおり。